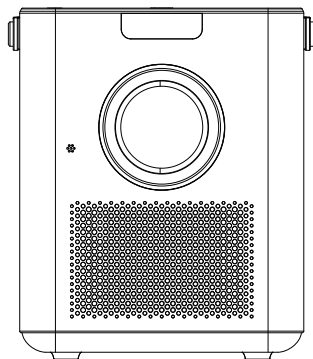


取扱説明書 -保証書添付-


型番：BW-F300BDP

フルセグ対応ブルーレイ™プロジェクター



-この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます-

- ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要事項の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用途などに使用しないでください。

 本製品は日本国内専用用品であり、日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

目次

■ 安全上のご注意	3~10
■ 使用上のお願い	11~13
■ ディスクについて	14~18
■ 付属品の確認	19
■ 各部名称	20
■ リモコン	21~22
リモコン電池の取り付け / リモコンの操作	23
■ プロジェクターの設置	24
■ 主な操作	25~31
電源を入れる / 電源を切る	25
画面のフォーカス調整 / 画面4点 台形補正	26
外部機器と接続する / 投影サイズ	27~28
Wi-Fiに接続する / Bluetoothに接続する	29
スマートフォンとミラーリングする	30
プロジェクター その他の設定	31
プロジェクター メニュー	31
■ ブルーレイプレーヤー機能 -ディスクの再生(基本操作)-	32~34
ディスクを再生する	32
再生を停止する / ディスクを取り出す / 一時停止する / ディスクの先頭から再生する / 早送り/早戻しする	33
前後のチャプターへ移動する / 音量調整する / 消音する / メニュー/タイトル画面を表示する	34
■ ブルーレイプレーヤー機能 -ディスクの再生(応用操作)-	35~36
音声を切り替える / 字幕を切り替える / アングルを切り替える	35
ズーム再生する / リピート再生する	36
■ ブルーレイプレーヤー機能 -ディスクの再生(便利な操作)-	37~41
ディスク情報を表示する	37
サーチ再生する	38
プログラム再生する	39
ブックマーク機能を使用する	40
OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する	41

目次

■ ブルーレイプレーヤー機能 - メディアセンター -	42~46
メディアセンターを開く	42
再生するファイルの種類を選択する	43
動画/音楽/写真ファイルを再生する	44
画像ファイル再生時の操作	45
音楽ファイルを再生する	46
■ ブルーレイプレーヤー機能 - 設定メニュー -	47~50
■ ブルーレイプレーヤー機能 - CDを録音する -	51~52
■ 地上デジタル放送/ワンセグ放送 - 視聴準備 -	51~55
アンテナを接続する	53
地上デジタル専用 mini B-CASカードを入れる / B-CAS(ビーキャスト)カードについて / 地上デジタル専用 mini B-CASカードを取り出すには	54
チャンネル設定する	55
■ 地上デジタル放送/ワンセグ放送 - 視聴する -	56~57
番組表を見る	56
チャンネルリストを見る / TVメニューについて	57
■ トラブルシューティング	58~59
■ LED表示説明	60
■ 仕様	61
■ 各種ライセンスについて	62
■ アフターサービス/免責事項	63
■ 保証規定	64
■ 製品保証書/お問い合わせ先	65


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)



警告

異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たらすぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことを
ご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことを
ご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてくだ
さい。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことを
ご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセ
ントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマ
ーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜い
てください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマ
ーセンターへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保して
ください。

危険 使用について



禁止

ACアダプターは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、ご使用にならないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプターは、100ボルト交流電源(AC100V)のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。
定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、ACアダプターをコンセントから取り外して行ってください。
電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

ACアダプターのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターに交換をご依頼ください。



警告

電源について



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。
コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。
破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コードひっぱり
禁止

電源プラグをコンセントに抜き差しする場合、電源プラグを持ってください。
コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



警告

設置について



不安定な場所に
置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、
高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



警告 設置について



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。
ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱
わないでください。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



警告 使用について



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクはご使用にならないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。



禁止

業務用途としてはご使用にならないでください。
過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池をご使用ください。
指定外の電池、種類の違う電池や未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。
また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間ご使用になれないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



警告 電池について



禁止

電池を加熱したり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないください。
飲み込むと、障害や中毒の原因となります。
万一飲み込んだとき、または飲み込んだ恐れがあるときは、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、清潔な水で洗い流してください。
電池の液が目に入った場合は、すぐに多量の清潔な水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間ご使用になられないときは、電源プラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量でご使用ください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量でご使用ください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。
また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



レンズを見ない

本体起動中に発光部(レンズ)を覗かないでください。目を傷める場合があります。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

メモリーカードを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
飲み込むと、窒息や障害の原因となります。



禁止

移動の際は、本体に振動や衝撃をあたえないでください。
故障・感電の原因となります。

使用上のお願い

未永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、ディスクやメモリーカードを取り出し、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| LCD、| Blu-ray Discドライブ、| ACアダプター、| ディスプレイ開閉部(ヒンジ))
- 本製品の使用中に、近くのテレビ・ラジオ・ビデオ等の機器に、画像 や音声の乱れなど出ることがあります。その場合は離れてご使用ください。
- 長時間ご使用になると本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 本製品の電源アダプター以外を使用しないでください。
- リモコンには、本書で指定された電池を使用してください。誤った電池を使用すると、リモコンや本製品の故障の原因となります。
- 本製品の動作中は、ベッドや毛布などの可燃物の上に置かないでください。
- 本製品を圧迫したり、重いものを上に乗せないでください。
- 内部回路基板への損傷を避けるために、本製品を投げたり、叩いたり、強く揺らしたりしないでください。

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプターをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ピックアップレンズにチリやホコリが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となりますので、その場合、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- レンズの損傷を避けるために、紙、布、または他のクリーニングツールを使用してレンズを直接拭かないでください。レンズ表面のほこりはエアダスター等を使って除去してください。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから取り外してください。

結露（つゆつき）について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。

データについて

- 対応する再生可能なフォーマットであっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、ジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
BD ディスク BD-ROM		・ 12cm ・ リージョンコードが A や ABC ・ 映像方式：NTSC
BD-R / BD-RE BD-R DL / BD-RE DL		・ 12cm ※ディスクによって再生できない場合があります。
DVD ディスク DVD-ROM		・ 12cm / 8cm ・ リージョンコードが 2 や ALL ・ 映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL		・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL		・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
CD CD-ROM		・ 12cm / 8cm ※DTS-CD は再生できません。
CD-R CD-RW	 	・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作成方法やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されているディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョン番号が「A」か「ABC」以外のブルーレイディスク
- リージョン番号が「2」か「ALL」以外のDVDビデオディスク
- DVD オーディオ、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のディスク
- フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど

記録形ディスクの再生について

- 本製品が対応している記録形ディスクであっても、データの記録状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。



著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について








- 複製制限機能 (コピーコントロール機能) のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声収録されています)
	記録されている字幕の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕収録されています)
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 (左の例は、3種類の角度で収録されています)
	横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード(地域番号)

リージョンコードについて

- ブルーレイディスクと DVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンコード）が設定されています。ご使用になるディスクに表示されている地域番号（リージョンコード）と一致しないと再生できません。

本製品で再生できるディスクは以下の通りになります。

※地域番号が同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

ブルーレイディスク : 地域番号（リージョンコード）は“A”です



DVD ビデオディスク : 地域番号（リージョンコード）は“2”です



著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容区分

タイトル、チャプター、トラック

ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



オーディオ CD は、「トラック」で区切られています。



タイトル：ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

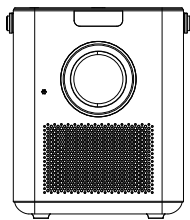
トラック：オーディオ CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

付属品の確認

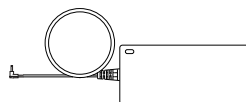
パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。



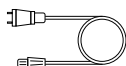
プロジェクター本体



リモコン



電源アダプター



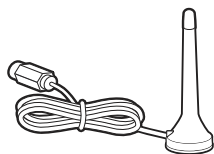
電源コード



リモコン用
単4乾電池



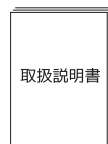
地上デジタル専用
mini B-CASカード



ワンセグ用
簡易ロッドアンテナ



スチールプレート

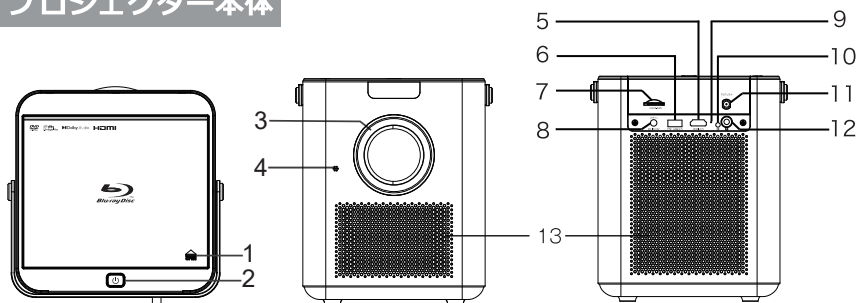


取扱説明書兼保証書
(本書)

付属のリモコン用電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。
ご了承ください。

各部名称

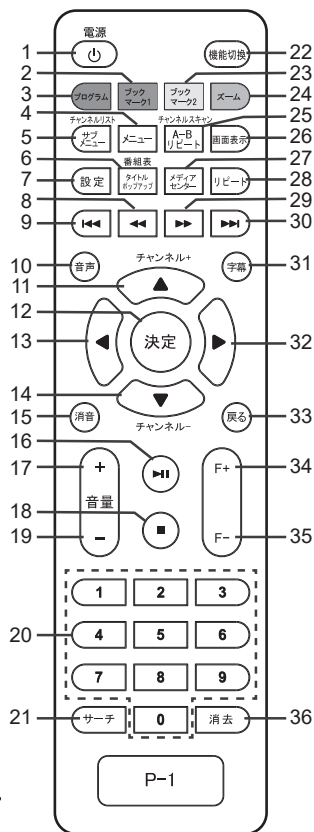
プロジェクター本体



1. OPENボタン
2. 電源ボタン
3. レンズ
4. リモコン受光部
5. HDMI入力端子
6. USB2.0入力端子
7. mini B-CASカードスロット
8. 電源入力端子
9. 電源ランプ
10. リモコン受光部
11. TVアンテナ端子
12. 3.5mmオーディオ端子
13. 通気口 ※排熱のため、塞がないでください。

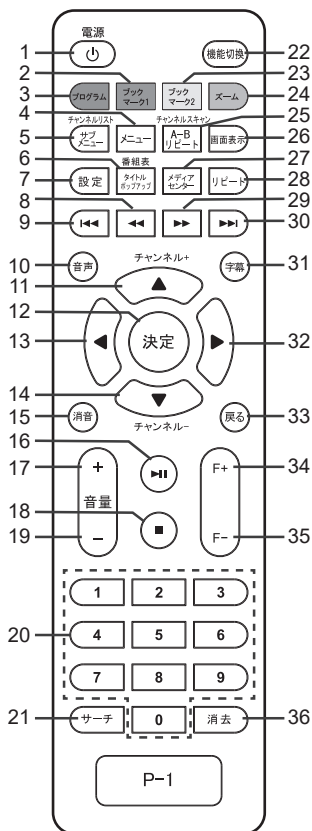
リモコン ホーム/HDMI/USB 機能時

1. 電源：プロジェクターの電源をオン/オフにします。
2. ブックマーク1：4ポイント補正を表示します。
3. プログラム：投影画面を小さくします。
4. メニュー：メニュー画面を表示します。
5. サブメニュー：使用しません。
6. タイトルポップアップ：投影画面を手前に傾けます。
7. 設定：設定画面を表示します。
8. 早戻し：早戻しを行います。
9. スキップ(前)：前のトラック/ファイルなどに移動します。
10. 音声：使用しません。
- 11/13/14/32. 方向操作：上下左右で項目を選択します。
12. 決定：選択した項目を決定します。
15. 消音：音声の「オン」「オフ」を行います。
16. 再生/一時停止：再生を開始します。再生中に押すと一時停止します。
- 17/19. 音量+-：音量を調整します。
18. 停止：再生を停止します。
20. 数字キー：数字を入力します。
21. サーチ：ホーム画面に戻ります。
22. 機能切換：ホーム、HDMI、Blu-ray-Player、TV、USBの各機能を切り換えます。
23. ブックマーク2：投影画面のインストールモードを変更します。
24. ズーム：投影画面を大きくします。
25. A-Bリピート：使用しません。
26. 画面表示：画面のアスペクト比を変更します。
27. メディアセンター：投影画面を奥に傾けます。
28. リピート：使用しません。
29. 早送り：早送りを行います。
30. スキップ(次)：次のトラック/ファイルなどに移動します。
31. 字幕：使用しません。
33. 戻る：前の画面に戻ります。
34. フォーカス+：焦点距離を長くします。
35. フォーカス-：焦点距離を短くします。
36. 消去：使用しません。



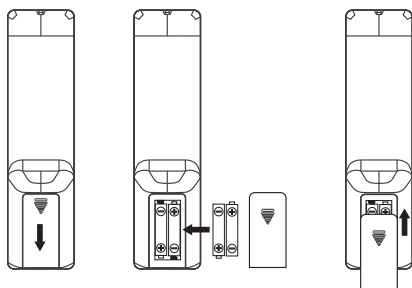
リモコン Blu-ray-Player/TV機能時

1. 電源：プロジェクターの電源をオン/オフにします。
2. ブックマーク1：ブックマークを設定します。
3. プログラム：プログラム再生を行います。
4. メニュー：ディスクのメニュー画面を表示します。
5. サブメニュー：サブメニューが表示されます。
チャンネルリスト：TV機能時にチャンネルリストを表示
します。
6. タイトルポップアップ：収録されているポップアップ
メニューを表示します。
番組表：TV機能時に番組表を表示します。
7. 設定：設定画面を表示します。
8. 早戻し：早戻しを行います。
9. スキップ(前)：前のチャプター/トラック/ファイルなどに
移動します。
10. 音声：音声を切り換えます。
- 11/13/14/32. 方向操作：上下左右で項目を選択します。
- 11/14. チャンネル+-：TV機能時に上下でチャンネルを
変更します。
12. 決定：選択した項目を決定します。
15. 消音：音声の「オン」「オフ」を行います。
16. 再生/一時停止：再生を開始します。再生中に押すと
一時停止します。
- 17/19. 音量+-：音量を調整します。
18. 停止：再生を停止します。
20. 数字キー：数字を入力します。
21. サーチ：タイトル/チャプター/再生時間などを指定して
再生します。
22. 機能切換：ホーム、HDMI、Blu-ray-Player、TV、USB
の各機能を切り換えます。
23. ブックマーク2：設定したブックマークを表示します。
24. ズーム：映像や画像の拡大、縮小表示を行います。
25. A-Bリピート：区間を指定したリピート再生を行います。
チャンネルスキャン：TV機能時にチャンネルスキャンを行います。
26. 画面表示：再生中の情報を表示します。
27. メディアセンター：メディアセンター画面を表示します。
28. リピート：リピート再生をします。
29. 早送り：早送りをを行います。
30. スキップ(次)：次のチャプター/トラック/ファイルなどに移動します。
31. 字幕：字幕を切り換えます。
33. 戻る：前の画面に戻ります。
34. フォーカス+：焦点距離を長くします。
35. フォーカス-：焦点距離を短くします。
36. 消去：入力した項目を消去します。



リモコン電池の取り付け

1. 電池カバーを開きます。
2. 下図のように+、-の向きに注意して単4乾電池を入れます。
3. 電池カバーを閉じます。

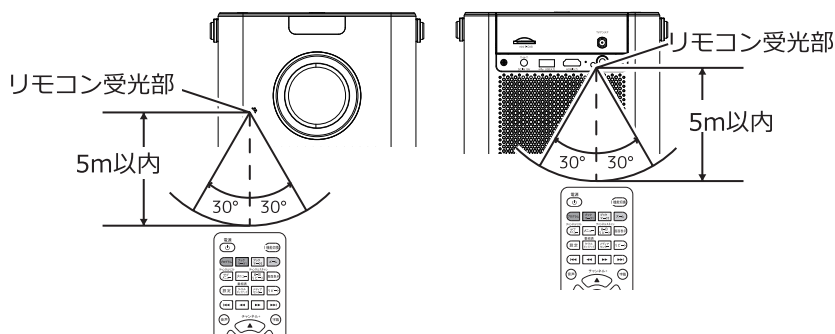


- 長時間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコンの操作

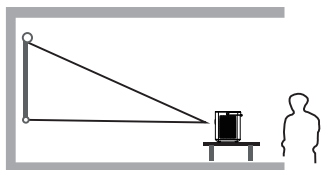
リモコンを使うときは、リモコン受光部から約5m以内の距離で、上下左右30度以内の範囲から操作をしてください。

リモコン受光部はプロジェクター本体の前面と背面にそれぞれあります。

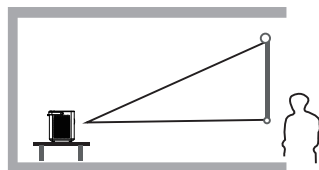


プロジェクターの設置

お部屋のレイアウトや好みに合わせて設置場所を決めることができます。スクリーンのサイズと位置、電源コンセントの位置、プロジェクターと他の機器の位置から、次のいずれかの場所に設置できます。



1. **スクリーン正面から映し出す**
プロジェクターをスクリーンの正面に設置します。
一般的な設置方法です。

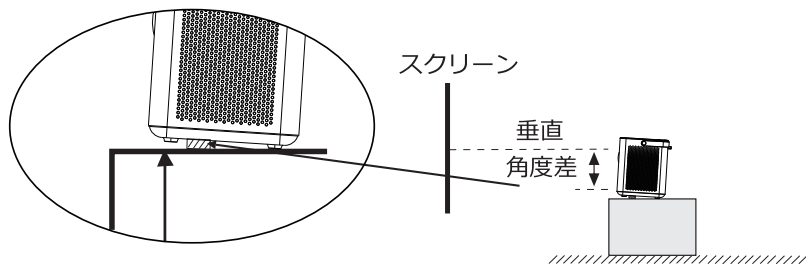


2. **スクリーン背面から映し出す**
プロジェクターをスクリーンの背面に設置します。
リア投影型スクリーンが必要になります。

「機能切換」ボタンで「ホーム」を選択します。
「設定」→「投影設定」→「インストールモード」で適切な投影方法を選択します。

垂直位置を調整する

以下の図に従って垂直位置を調整します。



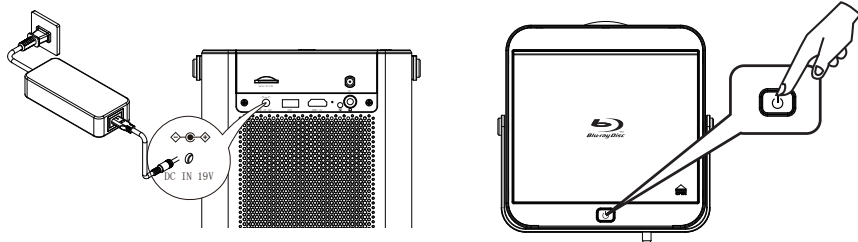
プロジェクター底面のアジャスターボルトを回して、投影画面を高い角度に調整できます。

主な操作

電源を入れる

電源コードを接続し、本体またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

※必ず本機の専用電源アダプターを使用してください。



電源を切る

リモコンまたは本体の電源ボタンを押して電源を切ります。

画面オフ：スタンバイ状態にします。

シャットダウン：電源を切ります。

再起動：再起動します。

Bluetoothスピーカー：携帯電話を接続して、Bluetoothスピーカーとして使用できます。

シャットダウン時間：シャットダウンするまでの時間を設定します。



画面のフォーカス調整

リモコンの「F+」「F-」ボタンを押して、画像が鮮明になるまでフォーカスを調整します。



※フォーカス調整をしても画像が鮮明にならない場合は、投影距離を適切な範囲で調整してください。

画面4点 台形補正

「機能切替」ボタンで「ホーム」を選択します。

自動台形補正

「設定」→「投影設定」→「キャリブレーション設定」→「自動台形補正キー」で設定できます。

「自動台形補正機能」が有効になっている場合、画面が自動的に調整されます。

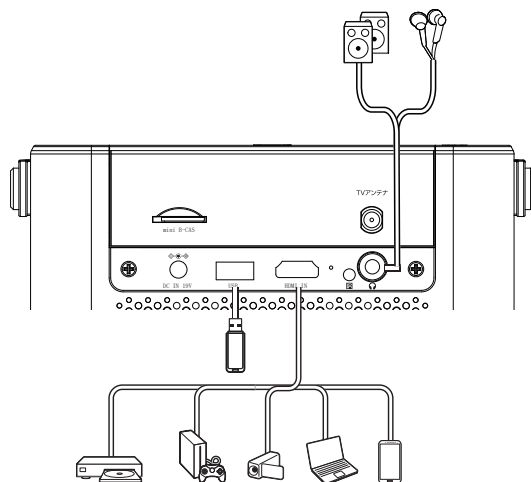
手動台形補正

「設定」→「投影設定」→「4ポイント補正」で設定できます。

手動で画面4点とサイズを調整できます。

ボタン	動作
決定	ポイントを選ぶ
方向操作キー	台形調整
メニュー	台形リセット
戻る	戻る
タイトルポップアップ	画面を手前に傾ける
メディアセンター	画面を奥に傾ける

外部機器と接続する



USBポート

「機能切換」ボタンで「USB」を選択します。
USBポートを使用してUSBメモリーから音楽・画像・動画を再生することができます。

- USBメモリーは、読み込みをしていない時に取り外してください。
- 音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、「■」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBメモリーを取り外してください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品やUSBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

イヤホン

3.5mmオーディオ端子を使用して、イヤホンで音声を聞くことができます。

- 音量を最小にしてから接続してください。
- イヤホンを接続すると、本体から音声は出力されなくなります。

HDMI入力

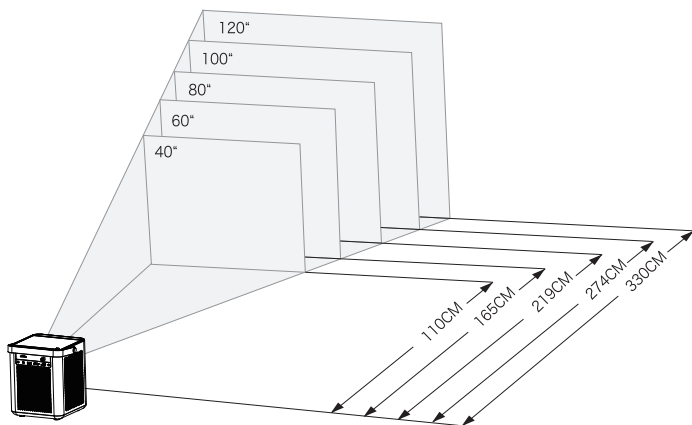
「機能切換」ボタンで「HDMI」を選択します。
HDMI入力端子を使用して、外部機器の映像と音声を入力することができます。

- 接続機器側の設定が必要になります。接続機器の説明書をご確認ください。
- 本機の入力と接続機器の出力は、直接接続してください。切り替え器や分配器などを経由して接続すると映像が乱れたり映像が映らない場合があります。
- 音置を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。

※すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

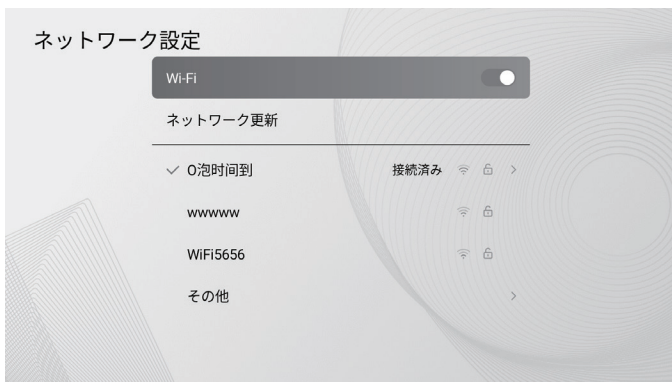
投影サイズ

プロジェクターと壁・スクリーンの距離で、投影サイズを調整できます。



Wi-Fiに接続する

「機能切換」ボタンで「ホーム」を選択します。
「設定」→「ネットワーク設定」を選択し、リストから接続するWi-Fiを選択して、プロジェクターをWi-Fiに接続します。



Bluetooth接続する

「機能切換」ボタンで「ホーム」を選択します。
「設定」→「Bluetooth設定」を選択します。

Bluetoothスピーカー接続：
プロジェクターとスピーカーのBluetooth機能を有効にし、Bluetooth検索を押し
てスピーカーを見つけ、決定ボタンを押してスピーカーを接続します。



iOS ホットスポット投影

1. 「ホーム」→「iOSホットスポットミラーリング」を選択します。
2. iPhone/iPadのWi-Fiをオンにして、「MSM_XXXX」のWi-Fiに接続します。
3. iOSデバイスの「画面ミラーリング」を押して、「MSM_XXXX」を選択します。

iOS Wi-Fi 投影

1. 「ホーム」→「設定」→「ネットワーク設定」でプロジェクターをWi-Fiに接続します。
2. 「ホーム」→「iOS Wi-Fiミラーリング」を選択します。
3. iPhone/iPadのWi-Fiをオンにして、プロジェクターと同じWi-Fiに接続します。
4. iOSデバイスの「画面ミラーリング」を押して、「MSM_XXXX」を選択します。

Androidデバイス投影

1. 「ホーム」→「設定」→「ネットワーク設定」でプロジェクターをWi-Fiに接続します。
2. 「ホーム」→「Androidミラーリング」を選択します。
3. AndroidデバイスのWi-Fiをオンにして、プロジェクターと同じWi-Fiに接続します。
4. Androidデバイスの「ワイヤレスディスプレイ」「画面ミラーリング」機能をオンにして、「MSM_XXXX」を選択します。

対応端末 : iPhone/iPad/Android

NETFLIX、Amazonプライムビデオ、Huluなどの著作権保護されたアプリは画面ミラーリングの再生に対応していません。

別途、Fire TV StickやGoogle Chromecastなどのデバイスを購入して視聴することができます。

プロジェクター その他の設定

「機能切換」ボタンで「ホーム」を選択し、「設定」→「その他の設定」を選択します。

項目	説明
電源オン入力ソース	電源をオンにした時の入力ソースを設定します。
電源投入モード	本体に電源コードを差した時の動作を設定します。
キー操作音	キー操作音のオン/オフを設定します。
スクリーンセーバー	無操作状態でスクリーンセーバーを表示するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー時間オフ	スクリーンセーバー表示後、自動で電源オフにするまでの時間を設定します。
言語設定	表示言語を設定します。
HDMI制御	本機とHDMI接続した機器の自動電源オン/オフを設定します。
出荷時の設定にリセットする	工場出荷時の設定にリセットします。

プロジェクター メニュー

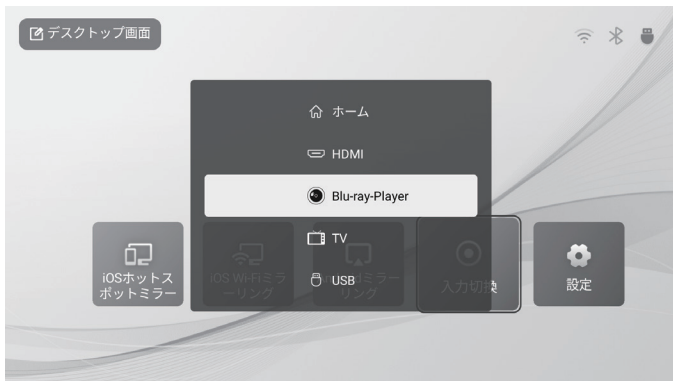
「機能切換」ボタンで「ホーム」または「HDMI」を選択し、「メニュー」ボタンを押します。

項目	説明
画像モード	画像モードを設定します。
色温度	色温度を設定します。
サウンドモード	サウンドモードを設定します。
サラウンドサウンド	サラウンドサウンドのオン/オフを設定します。
アスペクト比	アスペクト比を設定します。(HDMI時のみ)
シャットダウン時間	自動で電源オフにするまでの時間を設定します。
台形補正	無段階ズーム、4ポイント補正を設定します。

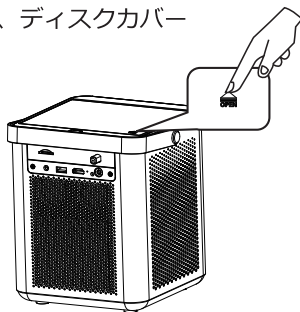
ブルーレイプレーヤー機能 -ディスクの再生（基本操作）-

ディスクを再生する

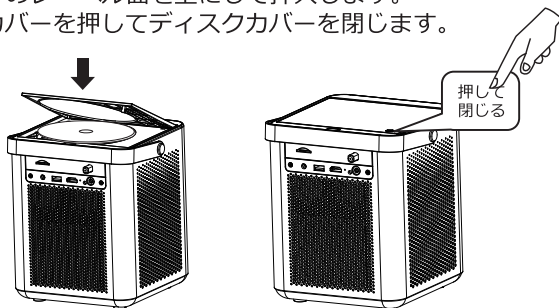
リモコンの「機能切換」ボタンを押すか、「ホーム」画面で「入力切換」を選択後、「Blu-ray-Player」を選択して「決定」ボタンを押します。



本体のOPENボタンを押すと、ディスクカバーが開きます。



BD/DVDディスクのレーベル面を上にして挿入します。
次に、ディスクカバーを押してディスクカバーを閉じます。

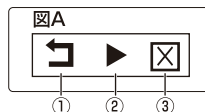


●DVDディスクやブルーレイディスクの高容量ディスクを再生した際に機械内部より機械動作音が大きく聞こえる場合がございますが故障ではありません。

図Aのメニューが表示された場合は、「◀」または「▶」ボタンで選択を行い、「決定」ボタンで決定してください。

- ①ディスクの最初から再生が開始されます。
- ②停止した場所から再生が開始されます。
- ③メニューを閉じます。

※ディスクにより、停止した場所から正常に再生されない場合があります。
※ディスクの種類によっては、図Aのメニューは表示されません。(録画したディスクなど)
※再生途中で電源をOFFにした場合、図Aのメニューは表示されません。



再生を停止する

リモコンの「■」ボタンを押すと、再生が停止します。

リモコンの「■」ボタンを1度押した場合は、画面左上に■マークが表示され停止位置が記憶されます。ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されません。ディスクの先頭から再生が開始されます。

●ラストメモリー(レジューム)機能をオンにした場合は、P47の使用方法和条件をご参照ください。

ディスクを取り出す

本体上部のOPENボタンを押して、ディスクトレイカバーを開けます。

ディスクカバーが開いた事を検知すると自動でディスクの回転が数十秒後に止まります。回転が止まった事を確認してからディスクを取り出してください。

- ※ディスクの回転中は、ディスクに触れないでください。ケガ、故障の原因となります。
- ※ディスクを取り出す際に、ピックアップレンズ付近を触らないようご注意ください。
- ※取り出したディスクはケースなどに入れて保管を行ってください。

一時停止する

再生中にリモコンの「▶||」ボタンを1度押すと一時停止できます。通常再生に戻るにはもう1度「▶||」ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの「■」ボタンを続けて2回押します。

画面左上に「■」表示が無い状態で、リモコンの「▶||」ボタンを押すとディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの「▶▶」 / 「◀◀」ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。「▶▶」 / 「◀◀」ボタンを押すごとに [1] [2] [3] [4] [5] 段階と再生速度を変更できます。通常再生に戻るには「▶||」ボタンを押します。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの「◀◀」/「▶▶」ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。
「▶▶」ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。
「◀◀」ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには2回押してください。

●ディスクによっては、ボタンを押してから動作するまで時間がかかる場合があります。

音量調整する

「音量+/-」ボタンを押すと音量調整できます。

■ご注意ください。

DVDビデオやブルーレイビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや他のモードにしたとき、音量が大きすぎることがあります。

消音する

リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態になります。
消音状態を解除するには、もう1度「消音」ボタンを押してください。

メニュー/タイトル画面を表示する

メニュー画面やタイトル画面が記録されているディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの「メニュー」ボタンを押すと、ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

「決定」ボタンを押すと選択した項目が表示されます。

音声を切り替える

複数の音声記録されているディスクは、音声の切り替えができます。

※例：ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの「音声」ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声切り替える場合があります。
- 1つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。

字幕を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの「サブメニュー」ボタンを押して、OSC(オンスクリーンコントロール)で切り替えます。

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。
- ディスクによっては、リモコンの「赤」/「黄」/「緑」/「青」ボタンを使用します。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

ズーム再生する




ディスク再生中に、リモコンの「ズーム」ボタンを押すと、ズーム再生になります。ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、拡大再生中は「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示位置を移動できます。

●ディスクによってはズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの「リピート」ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

-  **チャプター** . . . 現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
-  **タイトル** . . . 現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
-  **オール** . . . 全てを繰り返し再生します。
- (非表示) . . . 通常再生に戻ります。

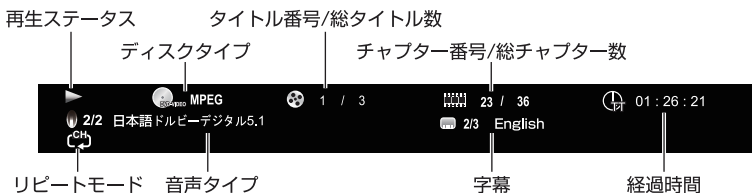
●ディスクによってはリピート再生できない場合があります。

●音楽 CD 再生時は「トラック」「オール」が使用できます。

ディスク情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの「画面表示」ボタンを押すと下のように画面に表示されます。



もう1度「画面表示」ボタンを押すと非表示になります。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

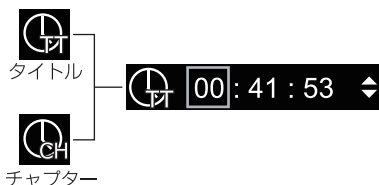
サーチ再生する

ご覧になりたい時間を指定して再生します。

再生中にリモコンの「サーチ」ボタンを押します。

ディスク情報画面が表示され、[経過時間]の項目にカーソルが移動します。

リモコンの「▲/▼」ボタンでタイトル/チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと、下のように表示が切り替わり、数字キーで時間を入力できます。

リモコンの「◀/▶」ボタンで [時] [分] [秒] が移動できます。

入力した時間を消去するには「消去」ボタンを押してください。



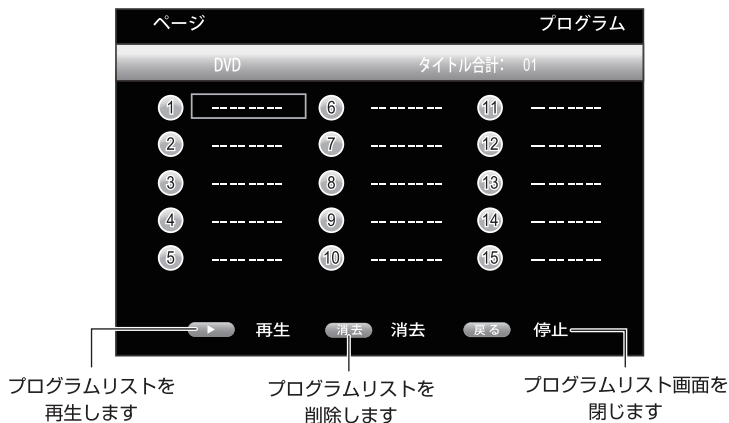
時間を入力した後にリモコンの「決定」ボタンを押すと、指定した時間から再生されます。

●収録時間外の数字は入力できません。

プログラム再生する

タイトル / チャプターをプログラムリストに登録して再生します。

再生中にリモコンの「プログラム」ボタンを押すと、下のような画面が開きます。



■プログラムリストに登録する

リモコンの「決定」ボタンを押します。

左のように表示が切り替わりますので、リモコンの「▲/▼」ボタンで数字を入力して「◀/▶」ボタンでタイトル / チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと確定され、次項のリストへカーソルが移動します。

リモコンの「▶II」ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

- 最大15まで登録できます。
- ディスクによって正常に動作しない場合があります。
- 録画されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

ブックマーク機能を使用する

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。

■ブックマーク位置を登録する

再生中に位置登録したい場面でリモコンの「ブックマーク1」ボタンを押します。
ボタンを押すごとに下のように表示され、最大12か所の登録ができます。



■ブックマーク位置を呼び出す

再生中にリモコンの「ブックマーク2」ボタンを押すと下のように表示されます。



再生中にリモコンの「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したブックマーク番号を選択し、「決定」ボタンを押すと再生します。

削除するには「消去」ボタンを押してください。

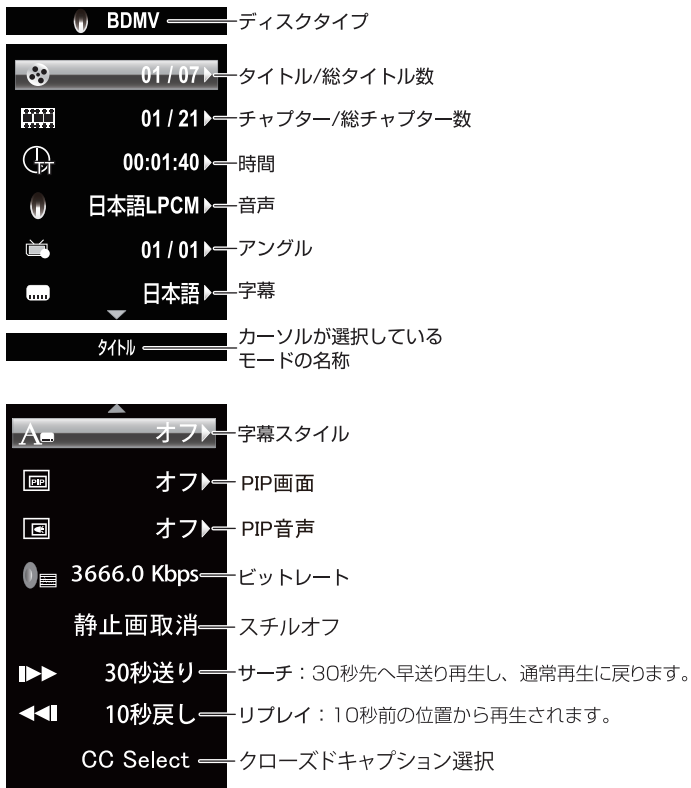
「ブックマーク1」ボタンを押すと非表示になります。

- ブックマーク画面を表示中、再生は停止されます。
- ブックマーク位置は再生を停止すると消去されます。
- ディスクによって正常に動作しない場合があります。
- 録画されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する

再生中にリモコンの「サブメニュー」ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。

カーソルボタンで項目を移動し、「決定」ボタンで変更できます。



●ディスクに記録されていない項目は切り替えできません。

ブルーレイプレーヤー機能 - メディアセンター -

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法を紹介します。

メディアセンターを開く

USBメモリー、データディスク、を挿入して電源を入れます。

「機能切換」ボタンを押して、「Blu-ray-Player」に切り換えます。

リモコンの「メディアセンター」ボタンを押すと、メディア選択画面が表示されますので再生したいメディアを選択してください。

※データディスクが挿入されたときは、ディスクを読み込みフォルダ表示画面になります。

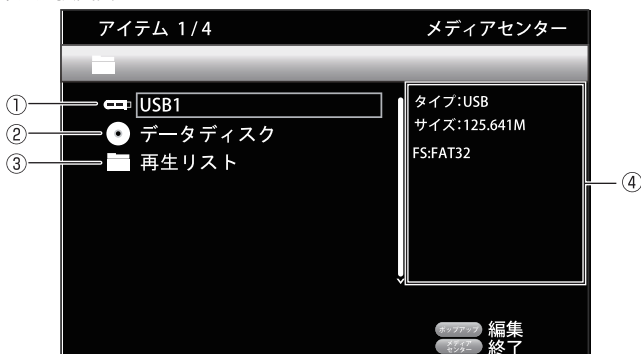
■操作方法

「決定」ボタン：項目やフォルダを確定して開きます。

「▲/▼」ボタン：項目やフォルダ、ファイルを選択します。

「◀」ボタン：1つ前のフォルダ階層に戻ります。

メディア選択画面



①：USBメモリーのデータを読み込みます。※

②：ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。※

③：プレイリスト登録されたファイルを表示します。

④：カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

※挿入されていないときは表示されません。

再生するファイルの種類を選択する

メディアを選択すると、フォルダ表示画面になります。

フォルダ表示画面



- ① : アイテム番号/総アイテム番号を表示します。
- ② : 現在のフォルダ階層を表示します。
- ③ : 1つ前の階層に戻ります。
- ④ : 写真ファイルを表示します。
- ⑤ : 音楽ファイルを表示します。
- ⑥ : 動画ファイルを表示します。
- ⑦ : AVCHDファイルを表示します。

- ④～⑦は USBメモリーに記録されているフォルダではなく、ファイルの種類を分類するために本製品が自動表示しています。写真フォルダよりフォルダ階層に入ると、画像ファイル以外は表示されません。
- 対応する形式であっても、すべてのファイル、すべてのメモリーカードの動作保証をするものではありません。
- 日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。

※複数のファイルが存在する場合は、◀▶/▶▶ ボタンで次や前のページへ表示切換させることができます。

動画 / 音楽 / 写真ファイルを再生する

動画ファイル、音楽ファイル、写真ファイルを再生時の操作方法を紹介します。

- 「▶▶」 : 再生します。
- 「■」 : 1回押すと再生を停止して、画面左上に「■」マークが表示され停止位置が記憶されます。
2回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面になります。
- 「▶||」 : 一時停止します。
- 「◀◀」
「▶▶」 : 早戻し / 早送りスピードを調整します。
- 「▶▶」
「◀◀」 : 前後のファイルに移動します。
- 「消音」 : 消音します。
- 「画面表示」 : 情報を表示します。
音楽ファイル再生画面の表示のオン / オフを切り替えます。
- 「リピート」 : シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。
- 「サーチ」 : 時間指定してサーチ再生します。
- 「ズーム」 : 拡大表示して再生します。
- 「サブメニュー」 : OSC(オンスクリーンコントロール)機能が使用できます。
(表示内容は「OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する」を参照してください)

画像ファイル再生時の操作

■画像ファイル再生時の OSC(オンスクリーンコントロール)機能



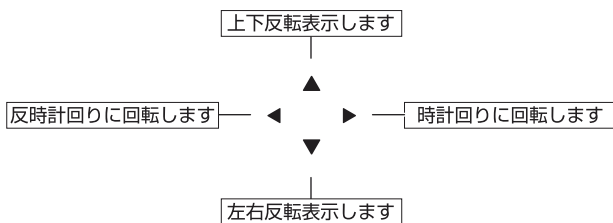
ファイル：画像番号 / 総画像数

ランダム ▶ プレイモード：ノーマル / シャッフル / ランダム

中 — スライドショー：速い / 中 / ゆっくり

ボックスア... — トランジション：なし / ワイプ左 / ワイプ右 / ワイプ上 /
ワイプ下 / ボックスイン / ボックスアウト /
ブレンド / ディゾルブ / インターレースH /
インターレースV / スプリットインH /
スプリットインV / スプリットアウトH /
スプリットアウトV

■画像ファイル再生中の「▲ / ▼ / ◀ / ▶」ボタンの動作



音楽ファイルを再生する

メディアセンター画面で音楽ファイルを選択して「▶||」ボタンを押すと、下のような音楽ファイル再生画面に切り替わります。



ブルーレイプレーヤー機能 - 設定メニュー -

ディスク再生機能(Blu-ray-Player)時の設定を変更します。

「設定」ボタンを押してセットアップメニュー画面を表示し
 「◀/▶」ボタンで「基本設定」「映像設定」「音声設定」を選択します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説	
基本設定 	システム	自動再生	●オン オフ		①	
		設定初期化	操作確認		②	
		アップグレード	ディスク USB		③	
		かんたん設定			④	
		BUDA <small>※本機では使用しません</small>	BUDA 情報 BUDA 設定		⑤	
	言語設定	設定画面言語	英語 ●日本語		⑥	
		メニュー	各国言語 ●日本語		⑦	
		音声	各国言語 ●日本語		⑧	
		字幕	各国言語 ●日本語 オフ		⑨	
		再生設定	アングル	●オン オフ		⑩
	PIP画面		●オン オフ	⑪		
	PIP音声		●オン オフ		⑫	
	ラストメモリー		●オン オフ		⑬	
	Audio Watermark Level3		●オン オフ			
	安全設定	パスワード変更	パスワード入力		⑭	
		視聴制限	パスワード入力	オフ		⑮
				子供向け		
				G		
				PG		
				PG13		
				PGR		
				右		
	NC17					
	●無制限					

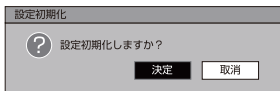
※●印は工場出荷値の設定になります。

※製品バージョンの違いにより設定内容が表と異なる場合がございます。

※ディスクの種類によって、設定機能が反映されない場合がございます。

※再生中は、一部の設定ができません。再生を完全に停止またはディスクやメモリーを取り外した状態で行ってください。

- ①：自動再生を設定します。
- ②：設定を工場出荷時へ戻します。
ディスクが入っていない状態で操作します。
◀ボタンを一度押し「決定」アイコンが黒地に白文字となった状態で「決定」ボタンを押してください。



- ③：※管理用となります。通常は使用しません。
- ④：初期設定を行うための「かんたん設定」を始めます。
- ⑤：※本機では使用しません。
- ⑥：表示言語を設定します。
- ⑦：メニュー言語を設定します。
- ⑧：音声を設定します。
- ⑨：字幕言語を設定します。
- ⑩：アングルマークを設定します。
- ⑪：ピクチャーインピクチャー画面マークを設定します。
- ⑫：ピクチャーインピクチャー音声マークを設定します。
- ⑬：ラストメモリー機能を設定します。(ディスクによっては「オン」でも機能しない場合があります。)
- ⑭：パスワードを変更します。初期値は0000です。
- ⑮：視聴制限を設定します。パスワードの入力が必要です。

●⑬のラストメモリー機能オンにした場合

<操作方法>

ビデオディスクの再生中に「停止」ボタンを1回押しして停止させてください。ディスクカバーを開けディスクの回転が停止したことを確認してから電源をオフにします。再び電源をいれたときに前回停止した位置から再生されます。

<条件・注意>

※ラストメモリー(レジューム)機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。

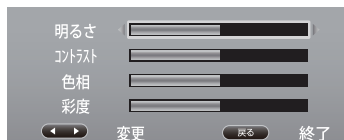
※ラストメモリー(レジューム)機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説							
映像設定 	画面調整	アスペクト比	● 16:9フル	/	①							
			16:9ノーマル									
			4:3PS									
			4:3LB									
		映像出力設定 <small>※PAL形式は動作保証外となります</small>	色空間			● NTSC	/	②				
						PAL						
						マルチ						
						● RGB			/	③		
		YCbCr										
		YCbCr422										
		フルRGB										
		HDMI Deep Color	HDMI Deep Color			30 bits					/	④
	36 bits											
	48 bits											
	● オフ			/	⑤							
	オン											
	● オフ											
	映像処理	映像調整	明るさ			-16 ~ 0 ~ +16	/	⑥				
			コントラスト			-16 ~ 0 ~ +16						
			色調			-9 ~ 0 ~ +9						
			彩度			-9 ~ 0 ~ +9						
鮮明度		鮮明度	高			/			⑦			
			● 中									
			低									


※●印は工場出荷値の設定になります。

- ①：映像の画面比率を設定します。
 ②：映像出力の設定をします。
 ③：色空間を設定します。
 ④：HDMIディープカラーを設定します。
 ⑤：1920×1080/24P対応テレビとHDMI接続している場合に設定します。
 ⑥：画質を調整します。
 ⑦：映像の鮮明度を設定します。

■[⑥画質調整]について



- 数値変更：「◀/▶」ボタン
 項目移動：「▲/▼」ボタン
 確定：「決定」ボタン
 戻る：「戻る」ボタン

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
音声設定 	音声出力	HDMI	ビットストリーム		①
			●PCM		
			オフ		
		ダウンサンプリング	●48K		②
			96K		
			192K		
		DRC	オフ		③
			オン		
			●自動		

※●印は工場出荷値の設定になります。

①：HDMI出力時の音声を設定します。（オフにすると、本体から音声は出ません。）

②：HDMI出力時のダウンサンプリング周波数の設定をします。

③：DRCの設定をします。

■[ビットストリーム] [PCM] について


ビットストリーム：オリジナルのビットストリーム音声信号を出力します。

PCM：すべての音声がリニアPCMに変換され音声出力されます。

■[DRC] について

音声のダイナミックレンジ(最大の音と最小の音との差)を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。

(本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります)

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
システム情報 					①

①：●ソフトウェアバージョンが表示されます。

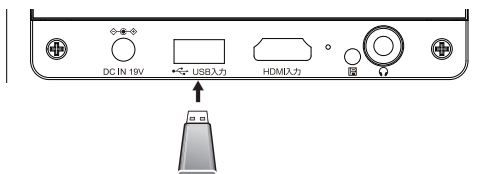


重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。

- USBメモリーに十分な空き容量があるか確認してください。
- 本機ではUSBメモリーに記録されているデータを削除することはできません。
- 録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 本機で録音したものは、MP3で記録されます。
- 容量の大きいメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- 本機ではフォルダー名やファイル名の入力・変更はできません。
- 本機ではMP3ファイル形式のディスクからの録音はできません。市販の音楽CDのみとなります。

■ メディアを挿入する

録音するCDディスクと、記録するメディア（USBメモリー）を本機にセットします。



※USBメモリーを挿入する際、ディスクは必ず閉めてください。

■ 録音する

セットしたCDディスクを再生し、リモコンの「字幕」ボタンを押すと、録音画面が表示されます。再生中でも「字幕」ボタンを押せば、曲の頭から録音できます。「▲▼◀▶」で、項目を移動します。

CD RIP			
オプション		トラック	
①	速度 : ノーマル	✓ Progress01	04:32
②	ビットレート : 128kbps	✓ Progress02	04:23
③	Create ID3 : V1	Progress03	03:52
④	デバイス : USB1		
SUMMARY			
⑤	Select Track: 2		
⑥	Select Time: 08:55		
	開始	取消	
		全選択	Select None

⑦

⑧

⑨

- ① 録音スピード：「決定」ボタンを押すごとに録音スピードが切り換えられます。
(ノーマル ⇄ 速い)
※「速い」を選んだ場合、スピーカーから音は流れません。
- ② ビットレート（圧縮率）：「決定」ボタンを押すごとに圧縮率が切り換えられます。
(64Kbps→96Kbps→128Kbps→192Kbps→256Kbps→320Kbps→Lossless)
この数値が大きいくほど音質は良くなりますが、変換後のファイルサイズは大きくなります。
- ③ ID3作成：TAG式ファイルを作成します。
- ④ デバイス：録音先を表示します。(USBメモリー)
- ⑤ 選んだ曲数を表示します。
- ⑥ 選んだ曲の再生時間の合計を表示します。
- ⑦ CDに収録されているトラックリストを表示します。録音したい曲にカーソルを合わせて「決定」ボタンを押すと、左に「✓」が表示されます。すべて選択するには「全選択」、すべての選択を取り消すには「Select None」にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押します。
- ⑧ 開始：録音したい曲を選択している場合に、録音を開始します。
- ⑨ 取消：録音画面を終了してCD再生画面に戻ります。

■ 録音開始

- ① 録音中のトラックナンバーを表示します。
- ② トラックごとの録音状況を表示します。
- ③ トータルでの録音状況を表示します。
- ④ 録音中に「決定」ボタンを押すと、録音を中止します。
- ⑤ 選択したトラックと、録音状況が表示されます。

CD RIP	
オプション	トラック
トラック Progress	トラック 01 2%
トータル Progress	トラック 02 04:23
取消	
SUMMARY	
Now ripping...	
トラック	01:02

録音されたファイルはUSBメモリーの「ALBUM」フォルダーに保存されます。ファイル名は「TRACK01」「TRACK02」・・・というように順番に番号が増えるようにファイル名を割り当てられて、記録/保存されます。

※すでに途中まで録音されている曲は、本機が未登録部分を探して録音することができません。同じ曲でも再度録音する場合には、新しいファイルで保存されます。

- 録音が終わると、録音画面に戻ります。
終了するには、「取消」にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押してください。



- 録音中や録音画面表示中は振動を与えたり、USBメモリーを抜かないでください。

地上デジタル放送／ワンセグ放送 -視聴準備-

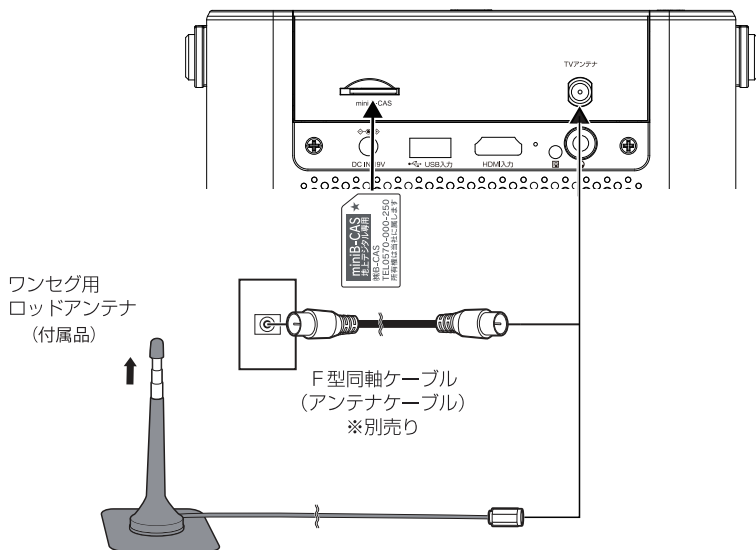
リモコンの「機能切換」ボタンを押すか、「ホーム」→「入力切換」を選択して、「TV」を選択して「決定」ボタンを押します。

地上デジタル放送やワンセグ放送を視聴する前に以下の準備をしてください。

アンテナを接続する

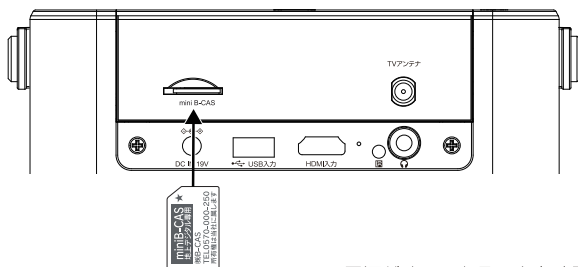
■ご注意ください
アンテナ端子はネジ式です。緩まない程度まで手で回して締めてください。
締める際に工具などを使用しないでください。
アンテナ端子破損の原因となります。

安定した受信のために、地上デジタル放送受信用アンテナへの接続をおすすめします。
(室内のアンテナ端子など)



- アンテナを接続する場合は、必ず本製品の電源をオフにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。ACアダプターはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。
- ロッドアンテナは窓際などの受信感度が良い場所に設置してください。ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信ができない場合があります。
- 受信場所によってはロッドアンテナを横(水平)方向に設置すると受信状態が良くなる場合があります。設置場所や向きを調整して感度が良くなる場所でご使用ください。
- アンテナケーブルは束ねないでください。束ねると感度が低下する場合があります。
- ロッドアンテナで受信できない場合は、別売り市販品のF型同軸ケーブルを接続し受信を確認してください。
- 地上デジタル放送を受信する場合、一部地域や環境施設によって電波が入らない地域がございます。ご了承下さい。

地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる



地上デジタル専用
mini B-CAS カード
(付属品)

電源がオフであることを確認し、mini B-CASカードの端子面を下にして「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。

- 地上デジタル放送を視聴する場合は、付属のmini B-CASカードを差し込む必要があります。
- mini B-CAS カードスロットには、mini B-CAS カード以外を入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 使用中に mini B-CAS カードを抜き差ししないでください。

B-CAS (ビーキャス) カードについて

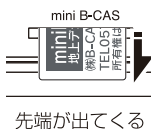
- 本製品には地上デジタル専用 mini B-CAS カードが1枚付属しております。B-CASカードの役割やの取り付け方法については、「地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる」を参照してください。
- mini B-CASカードの登録や取り扱い方法の詳細は、カードが貼ってある説明書を参照してください。
- mini B-CASカードの破損、紛失、盗難や本製品の廃棄などでカードが不要になった場合などは、(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
(お問い合わせ先：カスタマーセンター TEL 0570-000-250)

地上デジタル専用 mini B-CASカードを取り出すには

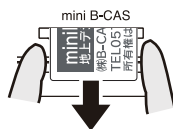
mini B-CASカードを取り外す場合は、mini B-CASカード中央部を指で押し込み、出た端をつまんでゆっくり取り外します。



押し込む



先端が出てくる



つまんで
取り出す

チャンネル設定をする

リモコンの「機能切換」ボタンを押すか、「ホーム」→「入力切換」を選択して、「TV」を選択して「決定」ボタンを押します。

はじめて「TV機能(FULL SEG)」に切り替えたときは、チャンネルスキャンが始まります。



チャンネルスキャンが終わるとチャンネルが登録され視聴画面に切り換わります。

※ ロッドアンテナでは受信感度が低く、チャンネルが登録できない場合は「サービスなし」と表示され視聴画面に切り換わりません。

その場合は、F型同軸ケーブル(別売)で地上デジタル放送受信用アンテナ(室内のアンテナ端子など)と接続して、再度チャンネルスキャンを行ってください。

■チャンネルスキャンを行うには

リモコンの「チャンネルスキャン」ボタンを押すか、TV 設定メニューから「フルスキャン」を選択してください。

初期状態では、受信状態に合わせて自動的に地上デジタル放送とワンセグ放送が切り換わります。地上デジタル放送かワンセグ放送の一方のみを視聴したいときは、TV設定メニューの「受信方法設定」で選択してください。

- 受信場所を移動したり、受信環境が変わって受信が出来なくなった場合は、チャンネルスキャンをやり直してください。
- 受信環境の状態によっては、チャンネルスキャンに時間がかかる場合があります。
- 放送エリア外では視聴できません。
- チャンネルによって受信状態が異なる場合があります。

地上デジタル放送／ワンセグ放送 -視聴する-

本項目では地上デジタル放送とワンセグ放送の操作方法を紹介します。

- 地上デジタル放送かワンセグ放送のどちらかを視聴したい場合はTV設定メニューの受信方法設定で[フルセグ][ワンセグ]を選択してください。

番組表を見る

リモコンの「番組表」ボタンを押すと現在放送中の番組表が表示されます。

番組表は現在放送中の番組より最大8日分、ワンセグ放送で最大10番組分表示されます。

- 設定直後や受信状況によりすべての番組表が表示されない場合があります。
- 番組表に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見るできません。

テレ王		1/365
06/15 11:00	イーイーフィッシング[S]	
06/15 11:30	TVショッピング・ショップシャバン[S]	
06/15 12:00	テレ王くんのうた[S]	
06/15 12:05	The馬[S]	
06/15 13:00	Shopping Time・JXXJエネルギーTVショッ	
06/15 13:30	宇宙戦隊ジュウレンジャー[S]	

「▲／▼」ボタンで番組を選択し、「決定」ボタンを押すと番組内容が表示されます。

イーイーフィッシング[S]
06/15 11:00～06/15 11:30
バスフィッシング発祥の地でビッグバスGET!!

番組表に戻るには「戻る」ボタンを押してください。

チャンネルリストを見る

リモコンの「チャンネルリスト」ボタンを押すとチャンネルリストが表示されます。

プレビュー
ウィンドウ

フルセグ	ワンセグ	16/44
	<input checked="" type="checkbox"/>	3 テレ王1
	<input type="checkbox"/>	3 テレ王2
	<input type="checkbox"/>	3 テレ王3
	<input type="checkbox"/>	4 月テレ1

13:00 イーイーフィッシング
13:30 TVショッピング・ショップシャパン 

「▲/▼」ボタンでチャンネルを選択し、「決定」ボタンを押すと、プレビューウィンドウに選択したチャンネルが映ります。

そのまま視聴するには、「チャンネルリスト」ボタンか、「戻る」ボタンを押します。

受信方法が「自動」の場合は「◀/▶」ボタンで「フルセグ」、「ワンセグ」のチャンネルリスト表示の切り替えができます。

TVメニューについて

TV設定メニューで設定できる項目を紹介します。

1/5	メニュー
①	受信方法設定
②	フルスキャン
③	言語
④	デバイス情報
⑤	初期化

- ① …… [ワンセグ] [フルセグ] [自動] を選択します。
- ② …… チャンネルスキャンを行います。
- ③ …… メニュー画面などの表示言語を選択します。
- ④ …… [B-CASカード情報] [バージョン情報] などを表示します。
- ⑤ …… TV設定を出荷時に戻します。

●初期化を行うとチャンネル登録もリセットされ、チャンネルスキャンが始まります。

トラブルシューティング

故障かな?と思ったら

リモコンが反応しない	<ul style="list-style-type: none">・本体の電源が入っていることを確認してください。・リモコンを本体のリモコン受光部に向けて使用してください。・リモコンの電池を新しいものに入れ替えてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・「消音」になっていないか確認してください。・音量設定が小さすぎないか確認してください。
投影画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・本体の電源が入っていることを確認してください。・入力切替で正しい入力ソースを選択しているか確認してください。・外部機器の映像出力が有効になっているか確認してください。パソコンのグラフィックドライバをアップデートしてください。・すべてのケーブルが正しく接続されているか確認してください。・コネクタのピンが折れ曲がっていないか確認してください。
画面が部分的にスクロールしている、または正しく表示されていない	<ul style="list-style-type: none">・外部機器の解像度を自動調整に変更してください。パソコンを使用している場合は、解像度をFHD (1920×1080)に変更してください。・解像度の変更ができない場合や、画面がフリーズした場合は、すべての機器を再起動してください。・画像が正しく表示されない場合は、パソコンのグラフィックドライバを更新してください。
画像が不安定、ちらつく	<ul style="list-style-type: none">・設定でトラッキングを調整してください。(PCモードのみ)
画像に垂直方向のちらつきがある	<ul style="list-style-type: none">・設定で周波数を調整してください。(PCモードのみ)
画像の焦点が合っていない	<ul style="list-style-type: none">・プロジェクターレンズのフォーカスリングを調整してください。・壁やスクリーンまでの距離が適切であるか確認してください。(110~330cm)
HDMI接続で映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">・HDMI出力に対応していない外部機器に接続されている場合、音声/映像信号が表示されない場合があります。・HDMIケーブルに欠陥がないか確認してください。・「解像度」を変更した時にこの問題が発生する場合、映像が表示されるまで「解像度」の設定を変更してください。

HDMI接続で音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器がHDCPに非対応の場合、音が聞こえないことがあります。
ディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが正しく読み込まれているか確認してください。 製品仕様で、対応するディスクか確認してください。 DVDまたはBDのリージョンコードをサポートしているか確認してください。 DVD+RWディスクの場合、ファイナライズされているか確認してください。 ディスクをクリーニングしてください。
データファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> データファイルが標準のUDF、ISO9660、JOLIET形式で記録されているか確認してください。 JPEGファイルの拡張子がjpg、JPG、jpeg、JPEG形式か確認してください。
16:9のDVDを表示すると画像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"> 本機は入力信号フォーマットを自動的に検出します。オリジナル設定の入力信号に従って、投影された画像のアスペクト比が維持されます。 設定でアスペクト比を調整してください。
LED警告ランプが赤色に点灯している	<ul style="list-style-type: none"> 本機のLEDが故障すると、自動的にシャットダウンされます。問題が解決しない場合は、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。
温度警告ランプが赤色に点滅している	<ul style="list-style-type: none"> 本機が過度に熱くなると、自動的にシャットダウンされます。本機を冷ましてから、再度電源をオンにしてください。問題が解決しない場合は、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。
リモコンが正常に動作しない、または限られた範囲でのみ動作する	<ul style="list-style-type: none"> リモコン電池の残量が少ない可能性があります。リモコンのLED表示が暗すぎないか確認してください。新しい単四乾電池に交換してください。

LED表示説明

ステータス	説明	電源 (赤/緑)	温度警告 (赤)	LED警告 (赤)
スタンバイ	プロジェクターはスタンバイモードです。	赤	オフ	オフ
電源オン	プロジェクターは通常モードです。	緑	オフ	オフ
オーバーヒート	通気口が塞がれているか、周囲温度が35℃を超えている可能性があります。本機は自動的にシャットダウンします。通気口が塞がれていないか、周囲温度が動作範囲内であるかを確認してください。問題が解決しない場合は、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。	オフ	赤点滅 (1秒オフ、3秒オンの繰り返し)	オフ
ファンの故障	ファンが故障しました。本機は自動的にシャットダウンします。問題が解決しない場合は、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。	オフ	赤点滅 (0.5秒オフ、2秒オンの繰り返し)	オフ
LEDの故障	LEDがシャットダウンします。	オフ	オフ	赤

仕 様

型番	BW-F300BDP
投影方式	LCD
解像度	1920×1080
明るさ	300ANSIルーメン
光源	LED
光源寿命	30000時間
コントラスト比	1000:1
アスペクト比	16:9 / 4:3
デジタル台形補正	自動/マニュアル (4コーナー台形補正)
内蔵スピーカー出力	5W×2
騒音レベル	43dB
電子フォーカス調整	自動/マニュアル
表示	画面サイズ 40~120インチ 投影距離 40"@110cm, 120"@330cm
入力インターフェイス	USB2.0×1、HDMI×1、TVアンテナ×1、 mini B-CASカードスロット×1、電源入力端子×1
出力インターフェイス	3.5mmオーディオ端子
映像信号方式	NTSC / PAL
受信周波数	UHF放送 13~62ch
Wi-Fi	iOS/Android/Windows 画面ミラーリング用
Bluetooth	Bluetooth 5.0
本体サイズ	178 (W) ×175 (H) ×212 (D) mm
重量	約2.1kg
許容動作温度/湿度	-5℃~40℃ / 10%~80%
電源	DC19V 6.3A
消費電力	120W
USBスロット	USBメモリー (USB2.0対応 最大128GBまで対応)
USB対応ビデオフォーマット	MPEG1,MPEG4,MOV,MJPEG,VOB,MKV
USB対応音声フォーマット	MP3,M4A (AAC),FLAC,WAV
USB対応画像フォーマット	JPEG,BMP,PNG
対応BDプロファイル	1.1 (BONUSVIEW)
対応ディスクタイプ	BD-ROM/BD-R (LTH対応) /BD-R DL/BD-RE/ BD-RE DL/DVD-ROM/DVD±R/DVD±R DL/ DVD±RW/CD-ROM/CD-R/CD-RW
対応ディスクフォーマット	BDMV/BD-RE/AVCHD(1.0)/AVCREC/DVD-VIDEO/ DVD-VR(CPRM対応)/CD-DA/データDVD/データCD
対応ディスクファイル形式	MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/H.264/MP3/AAC/WMA/ JPEG/GIF/PNG
セット内容	プロジェクター本体・電源アダプター・電源コード・リモコン・ リモコン用単4乾電池×2 (動作確認用) ・mini B-CASカード ワンセグ用簡易ロッドアンテナ (伸縮用) ・スチールプレート・ 取扱説明書兼保証書

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告なく変更される場合があります。

各種ライセンスについて

DVD Logo is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.

The Blu-ray Disc™, Blu-ray™, BONUSVIEW™ word marks and logos are trademarks of the Blu-ray Disc Association.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Java and all other Java trademarks and logo are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI Trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

Cinavia Notice

This product uses Cinavia technology to limit the use of unauthorized copies of some commercially-produced film and videos and their soundtracks. When a prohibited use of an unauthorized copy is detected, a message will be displayed and playback or copying will be interrupted.

If playback or copying is interrupted and one of the messages shown below is displayed, the content is an unauthorized copy protected by Cinavia technology.

Message	Cinavia Message Code
[Message(s) 1]	1
[Message(s) 2]	2
[Message(s) 3]	3
[Message(s) 4]	4

More information about Cinavia technology is provided at the Cinavia Online Consumer Information Center at <http://www.cinavia.com>. To request additional information about Cinavia by mail, send a postcard with your mailing address to: Cinavia Consumer information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA.

IPR Message

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ is a Verance Corporation trademark. Protected by U.S. Patent 7,369,677 and worldwide patents issued and pending under license from Verance Corporation. All right reserved.



アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理(有料)をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

高橋国際商事ホームページ

<https://www.takaworld.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。

5150MHz以上5350MHz以下の電波を使った送信は屋内でのみ行うことができると定められています。

保証規定

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させていただきます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。

②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。 購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。 Effective only in Japan.

製品保証書

品名	フルセグ対応ブルーレイ™プロジェクター	型番	BW-F300BDP
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	1年
お客様	お名前		
	ご住所		
販売店 記入覧（記入のない場合は保証の対象となりません）			
※ただし購入日を確定できる書類（レシート、納品書、販売店からの発送メール等）がある場合は保証の対象となります。			
販売店名・住所・電話番号			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">印</div>			

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ず弊社カスタマーセンターへご連絡後にお願いします。

発売元：株式会社 高橋国際商事

〒273-0005 千葉県船橋市本町5-12-20

カスタマーセンター

047-409-9832

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝祭日および弊社指定休日を除く）